

岡山県感染症週報 2025 年第 19 週 (5 月 5 日 ~ 5 月 11 日)

岡山県は『インフルエンザ注意報』を解除しました(5 月 16 日)

【お知らせ】2025 年第 20 週 (5/12~5/18) と第 21 週 (5/19~5/25) の感染症週報は、2025 年 5 月 30 日 (金) にホームページへ掲載いたします。

◆2025 年 第 19 週 (5/5 ~ 5/11) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況 (第 19 週届出分)

第 17 週 5 類感染症 百日咳 1 名 (70 代 男)

第 18 週 5 類感染症 百日咳 7 名 (小学生 男 3、中学生 女 1、20 代 男 1、30 代 男 1、50 代 男 1)

第 19 週 2 類感染症 結核 3 名 (20 代 男 1、30 代 女 1、40 代 女 1)

3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2 名 (O157:20 代 男 1、O 血清群不明:30 代 男 1)

4 類感染症 日本紅斑熱 1 名 (50 代 男)

5 類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1 名 (幼児 女)

梅毒 1 名 (20 代 男)

百日咳 37 名 (乳児 男 1、幼児 男 5、小学生 男 8・女 8、中学生 男 8・女 2、20 代 男 1、40 代 女 3、70 代 男 1)

麻しん 1 名 (幼児 女)

効果的な場面でのマスク着用!



© 岡山県「ももっち」

■定点把握感染症の発生状況

患者報告医療機関数: ARI 定点 50、小児科定点 28、眼科定点 12、STD 定点 18、基幹定点 5

○新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) は、県全体で 53 名 (定点あたり 1.06 人) の報告がありました。

○急性呼吸器感染症 (ARI) は、県全体で 2,574 名 (定点あたり 51.48 人) の報告がありました。

○インフルエンザは、県全体で 35 名 (定点あたり 0.70 人) の報告がありました。

1. [新型コロナウイルス感染症 \(COVID-19\)](#) は、県全体で 53 名の報告があり、前週から増加しました (定点あたり 0.86 → 1.06 人)。地域別では、倉敷市 (2.00 人)、備北地域 (1.75 人)、備前地域 (1.25 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。年代別では、30 代以下の年代で前週から増加しました。基本的な感染防止策 (効果的な場面でのマスク着用、手洗い等の手指衛生、換気、3 密 (密閉・密集・密接) の回避、健康的な日常生活、体調不良時の備え) に留意し、自主的な判断により実施しましょう。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ [『新型コロナウイルス感染症 \(COVID-19\) 情報』](#) をご覧ください。
2. [急性呼吸器感染症 \(ARI\)](#) は、県全体で 2,574 名の報告があり、前週から減少しました (定点あたり 67.12 → 51.48 人)。詳しくは、「[★急性呼吸器感染症 \(ARI\) 情報](#)」および岡山県感染症情報センターホームページ [『急性呼吸器感染症 \(ARI\) 情報』](#) をご覧ください。
3. [インフルエンザ](#) は、県全体で 35 名の報告があり、前週から減少しました (定点あたり 0.92 → 0.70 人)。県全体の定点あたり報告数が 2 週連続して 1 人を下回ったため、岡山県は、2024 年 11 月 21 日に発令した「インフルエンザ注意報」を、5 月 16 日をもって解除しました。詳しくは、「インフルエンザ週報」および岡山県感染症情報センターホームページ [『2024/25 年シーズン インフルエンザ情報「インフルエンザ注意報」が解除されました!』](#) をご覧ください。
4. [日本紅斑熱](#) は、2025 年第 19 週に 1 名の報告がありました。ダニが媒介する感染症として、他に [重症熱性血小板減少症候群 \(SFTS\)](#) や [つつが虫病](#) などがあります。これらは、病原体を保有するマダニまたはツツガムシに刺咬されることで感染します。また、SFTS に関してはイヌやネコからの感染も報告されています。ダニに刺咬されないための予防対策等については [コラム「ダニが媒介する感染症に注意しましょう!」](#) をご覧ください。
5. [梅毒](#) は、2025 年第 19 週に 1 名の報告があり、2025 年の累計報告数は 88 名となりました (2024 年の同時期: 119 名)。なお、2024 年の累計報告数は、1999 年の感染症法施行以降、最多の 355 名でした。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ [『梅毒について』](#) をご覧ください。

6. [百日咳](#)は、2025 年第 19 週に 37 名の報告があり、2025 年の累計報告数は 430 名となり、全数把握による統計を開始した 2018 年以降最多であった 2019 年の年間報告数 428 名を超えました（2024 年の同時期：1 名）。詳しくは「[今週の注目感染症](#)」をご覧ください。

流行の推移

疾病名	定点あたり患者数		推移	疾病名	定点あたり患者数		推移
	前週	今週			前週	今週	
インフルエンザ	0.92	0.70	↓	突発性発しん	0.25	0.39	↑
COVID-19	0.86	1.06	↑	ヘルパンギーナ	0.00	0.04	↑
急性呼吸器感染症(ARI)	67.12	51.48	↓	流行性耳下腺炎	0.07	0.07	→
RSウイルス感染症	0.43	0.32	↓	急性出血性結膜炎	0.00	0.00	→
咽頭結膜熱	0.39	0.18	↓	流行性角結膜炎	0.67	0.00	↓
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.46	1.32	↓	細菌性髄膜炎	0.00	0.00	→
感染性胃腸炎	9.18	9.50	→	無菌性髄膜炎	0.00	0.00	→
水痘	0.32	0.32	→	マイコプラズマ肺炎	0.80	0.40	↓
手足口病	0.00	0.04	↑	クラミジア肺炎	0.00	0.00	→
伝染性紅斑	0.18	0.25	↑	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0.60	0.40	↓

【記号の説明】 前週からの推移 ↑ : 増加 → : ほぼ増減なし ↓ : 減少 増加・減少 : 前週比10%以上の増減

ダニが媒介する感染症に注意しましょう！

野外にいる吸血性のダニとして、マダニやツツガムシなどが知られており、これらのダニの中には、**日本紅斑熱、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)※、つつが虫病**などを引き起こす病原体を保有しているものがあります。

ダニは、春から秋(3 月～11 月)にかけて活発に活動します。

野外で作業する際は、肌の露出を少なくし、こまめに虫除け剤(マダニ、ツツガムシの忌避を効能としているもの)を噴霧するなどし、ダニに刺咬されないようにしましょう。

また、野外での作業後は、シャワーや入浴を行い、ダニが付いていないかチェックをしましょう。

※SFTS は SFTS ウイルスに感染したイヌやネコからの感染も報告されています。
体調不良のペットや野生動物との接触は避けましょう。

★★ くわしくは、こちらをご覧ください ★★

- ⇒ [日本紅斑熱](#) (国立健康危機管理研究機構)
- ⇒ [重症熱性血小板減少症候群 \(SFTS\) に関する Q&A](#) (厚生労働省)
- ⇒ [ツツガムシ病とは](#) (国立健康危機管理研究機構)
- ⇒ [マダニ対策、今できること](#) (国立健康危機管理研究機構)



吸血後の
フタトゲチマダニ♀

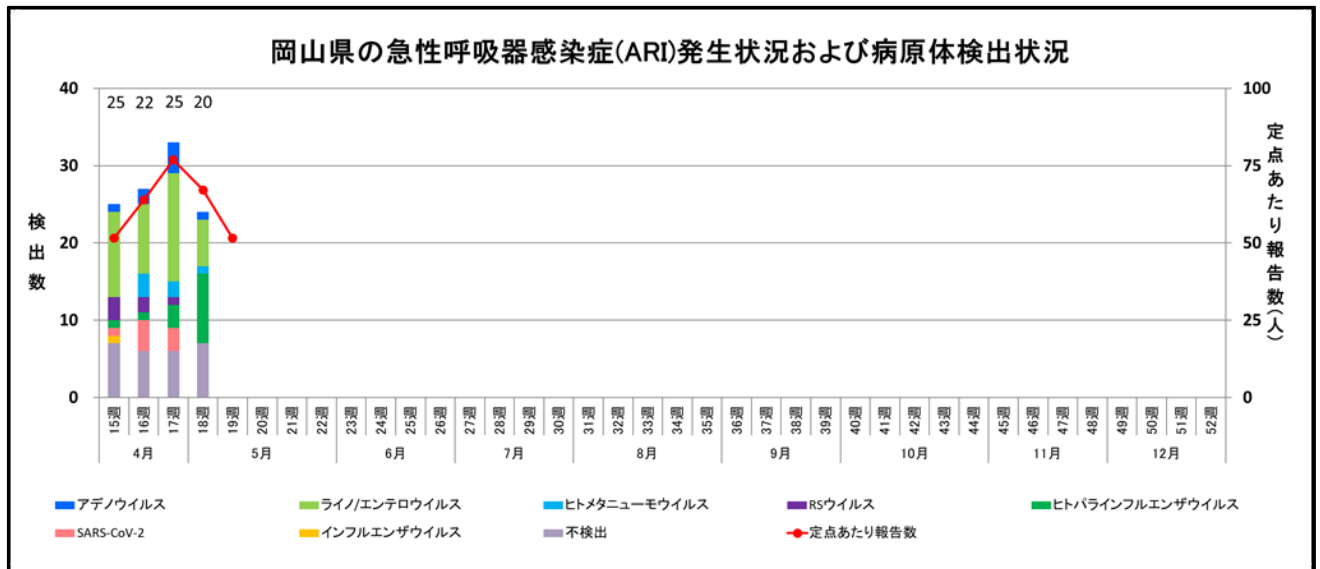


ヤマアラシチマダニ

岡山県環境保健センター
ウイルス科 撮影画像

★急性呼吸器感染症（ARI）情報

1. 岡山県の流行状況（第19週（5/5～5/11））



※定点把握対象となった第15週から表示しています。
※病原体の検出については検体を採取した週に計上しています。
※1検体から複数のウイルスが検出された場合はそれぞれ計上しています。
※グラフ上部の数字は検体数を示しています。
※急性呼吸器感染症（ARI）定点医療機関数：50 医療機関（内科定点 22、小児科定点 28）
※急性呼吸器感染症（ARI）病原体定点医療機関数：5 医療機関

急性呼吸器感染症（ARI）は、県全体で2,574名の報告があり、前週から減少しました（定点あたり67.12→51.48人）。地域別では、備中地域（94.20人）、倉敷市（58.25人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。基本的な感染防止策（換気や手洗い・手指消毒、マスクの着用を含めた咳エチケットなど）に留意し、感染対策に努めましょう。

2025年第19週に環境保健センターに搬入された検体はありませんでした。

2. 新型コロナウイルスゲノム解析結果

ゲノム解析の状況は以下のホームページをご覧ください。

○岡山県の状況

→ [新型コロナウイルスのゲノム解析（岡山県感染症情報センター）](#)

○全国の状況

→ [SARS-CoV-2 変異株について（国立健康危機管理研究機構）](#)

今週の注目感染症

★百日咳

●感染経路および症状

百日咳は、百日咳菌による急性の気道感染症で、一年を通じて発生がみられます。感染経路は患者の咳などによる飛沫感染や接触感染です。

感染後、通常 7～10 日間程度の潜伏期を経て発症し、風邪症状で始まり、次第に咳の回数が増えます（カタル期：約 2 週間）。

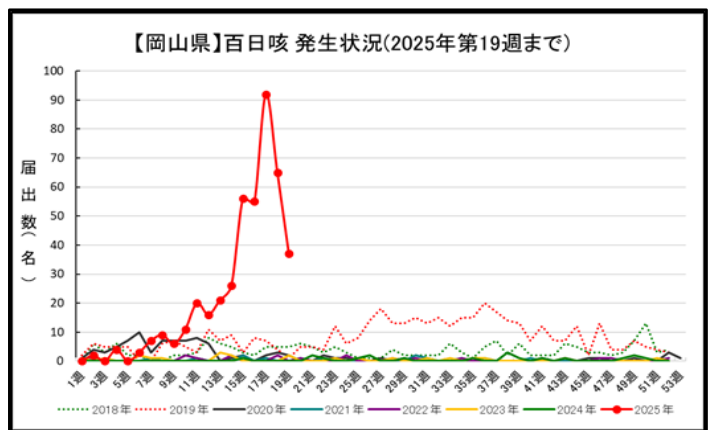
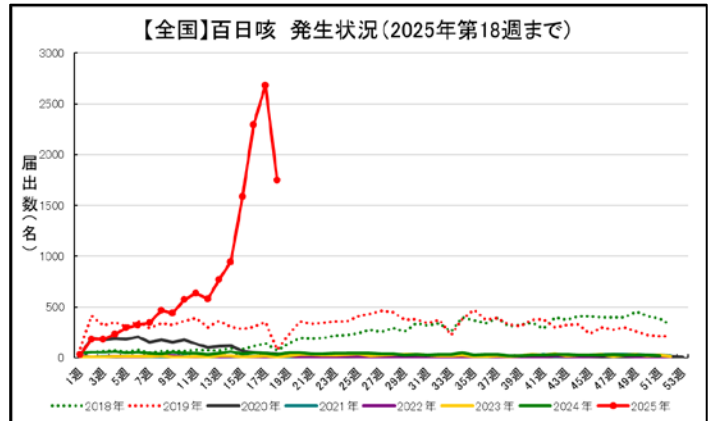
咳は次第に発作性けいれん性の咳（けい咳）となり、発作をくり返します。おう吐や顔面浮腫を起こしたり、乳児期早期では特徴的な咳がなく、無呼吸発作により、重篤となることがあります。合併症としては肺炎や脳症などもあり特に乳児では注意が必要です（けい咳期：2～3 週間）。

全経過 2～3 か月で次第に回復していきませんが、時折発作性の咳が出ることがあります（回復期）。

成人では咳が長期にわたって続きますが、典型的な発作性の咳がでることなく回復するため、見逃されやすくワクチン未接種の新生児・乳児に対する感染源として注意が必要です。

[百日咳（厚生労働省）](#)

[百日咳（国立健康危機管理研究機構）](#)



●治療・予防方法

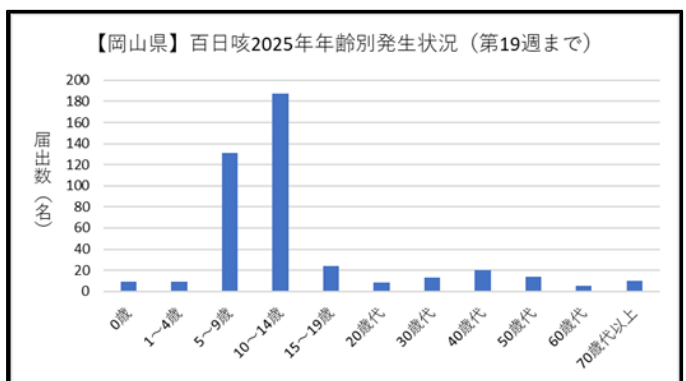
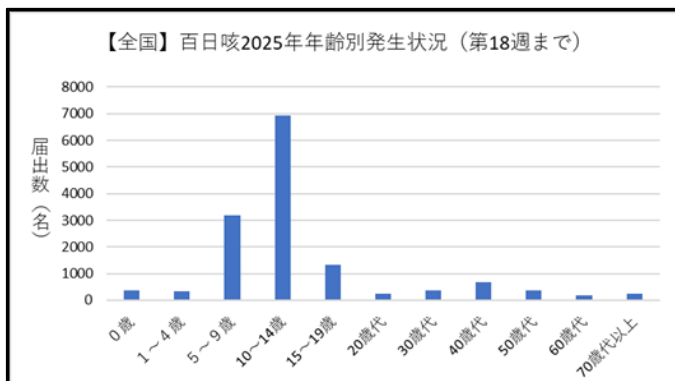
治療は生後 6 か月以上の患者にはマクロライド系の抗菌薬が用いられます。また、咳が激しい場合には、咳止め薬も用いられることがあります。

予防法は、予防接種のほか、感染者との接触を避ける、流行時のうがいや手洗い、手指の消毒などです。感染時は『咳エチケット』を心がけ、感染拡大防止に努めましょう。また、風邪と見分けがつかないまま、感染を広げる可能性があるため、咳が続く場合は早めに医療機関を受診しましょう。

●発生状況

全国では第 18 週に 1,746 名の届出があり、2025 年の累計届出数は 14,267 名となっています（2025 年 5 月 8 日時点）。年齢別では、5～14 歳で多く発生しています。

岡山県では第 19 週に 37 名の届出があり、2025 年の累計届出数は 430 名となっています（2025 年 5 月 14 日時点）。年齢別では、全国と同様に 5～14 歳で多く発生しています。



インフルエンザ週報 2025 年 第 19 週 (5 月 5 日 ~ 5 月 11 日)

岡山県は『インフルエンザ注意報』を解除しました(5 月 16 日)

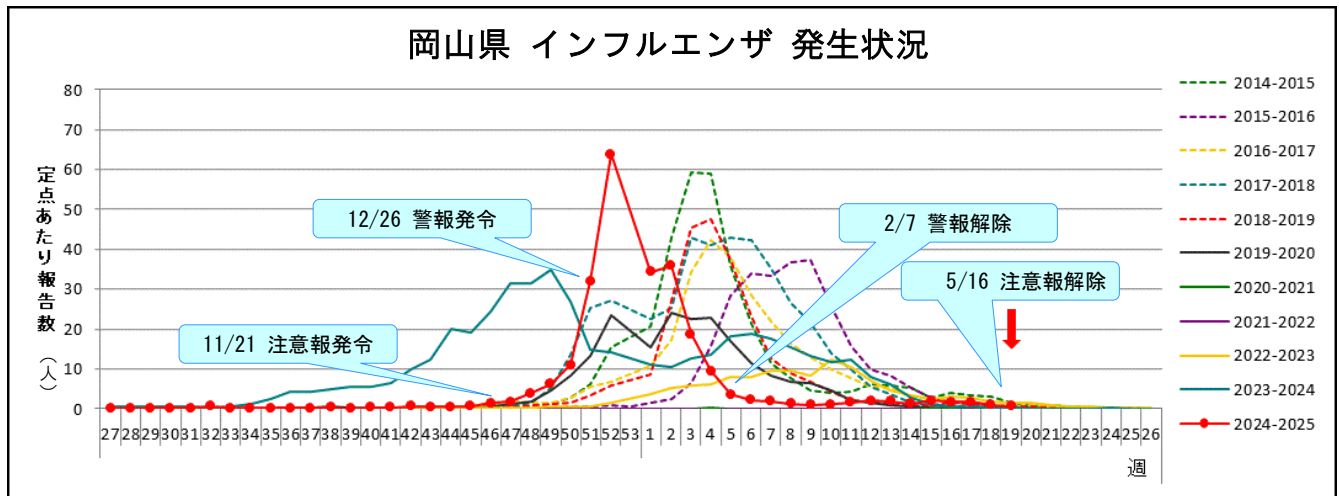
【お知らせ】 2024/25 年シーズンのインフルエンザ週報は、今週(第 19 週)をもって終了いたします。

岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で 35 名(定点あたり 0.70 人)の報告がありました(50 定点医療機関報告)。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が、2 施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者はありませんでした。

【第 20 週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 1 施設でありました(5 月 12 日~14 日)。



※インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第 27 週 ~ 翌年第 26 週で、グラフを作成しています。

※2025 年第 15 週以降定点がインフルエンザ/COVID-19 定点(84 医療機関)から ARI 定点(50 医療機関)になりました。

インフルエンザは、県全体で 35 名の報告があり、前週から減少しました(定点あたり 0.92 → 0.70 人)。

県全体の定点あたり報告数が 2 週連続して 1 人を下回ったため、岡山県は、2024 年 11 月 21 日に発令した「インフルエンザ注意報」を、5 月 16 日をもって解除しました。

注意報は解除になりましたが、引き続き体調管理に留意し、感染予防に努めましょう。

1. 地域別発生状況

地域名	発生状況(人)		推移	地域名	発生状況(人)		推移
岡山県全体	患者数	35	▲	備 中	患者数	2	▲
	定点あたり	0.70			定点あたり	0.40	
岡山市	患者数	4	▲	備 北	患者数	9	▲
	定点あたり	0.22			定点あたり	2.25	
倉敷市	患者数	15	▲	真 庭	患者数	0	▼
	定点あたり	1.25			定点あたり	0.00	
備 前	患者数	2	▲	美 作	患者数	3	▲
	定点あたり	0.50			定点あたり	0.60	

【記号の説明】 前週からの推移 ▲ : 大幅な増加 ▲ : 増加 ➡ : ほぼ増減なし ▼ : 減少 ▼ : 大幅な減少

大幅 : 前週比 100%以上の増減

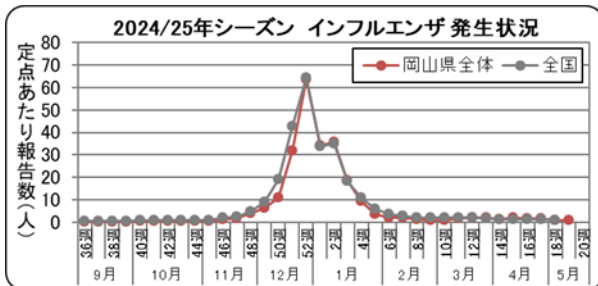
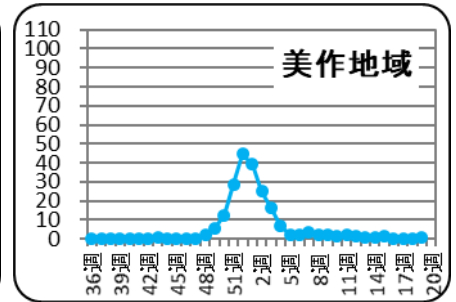
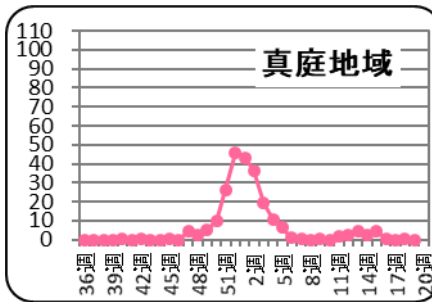
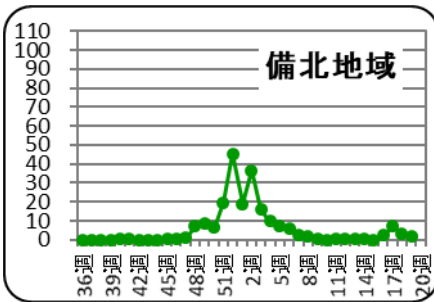
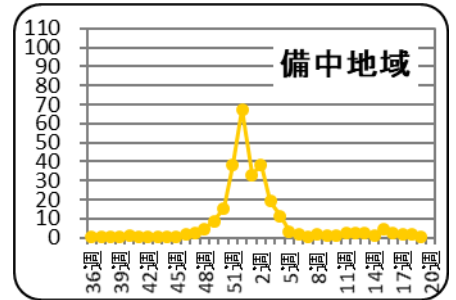
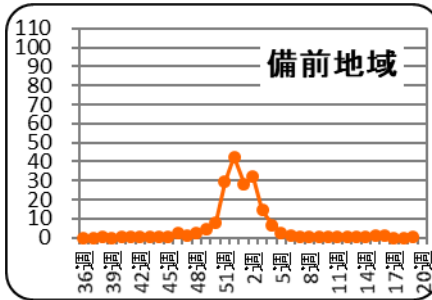
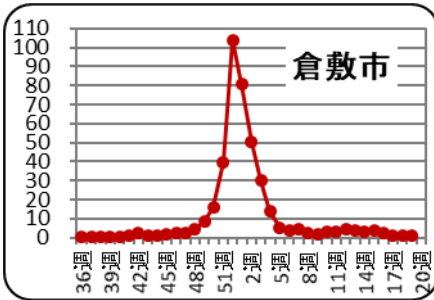
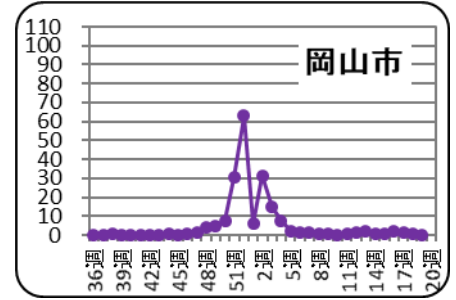
増加・減少 : 前週比 10~100%未満の増減

インフルエンザ感染症マップ



＜インフルエンザ発生レベル 基準＞

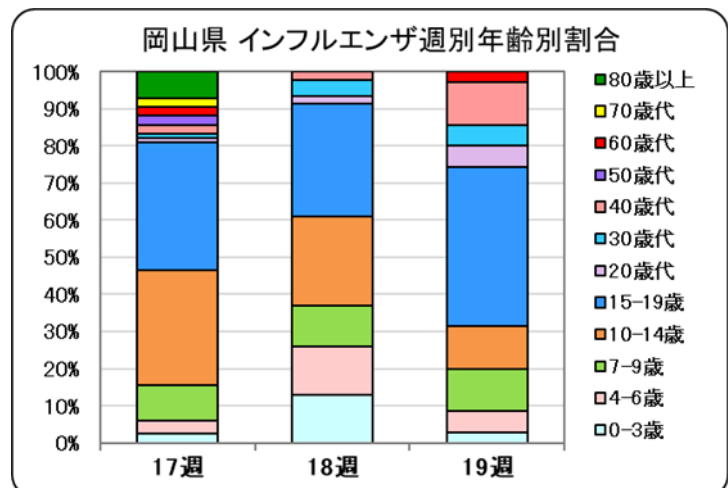
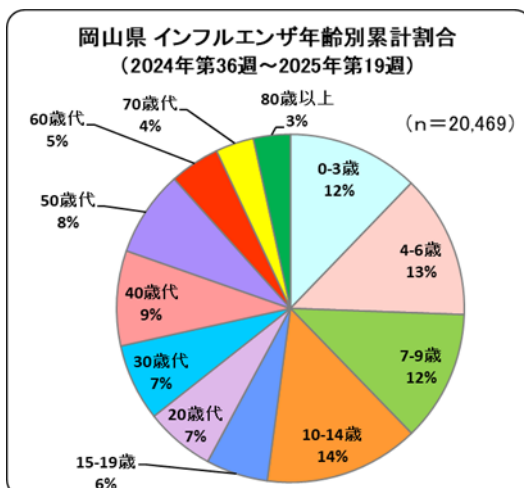
レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満
レベル1		報告なし
基準値	基準値	基準値
0 < 10 未満	0	0



全国集計 2025 年第 18 週 (4/28～5/4) 速報値によると、全国の定点あたり報告数は 0.79 人となりました。都道府県別では、沖縄県 (3.24 人)、秋田県 (2.62 人)、香川県 (2.25 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。38 都道府県で前週の報告数から減少しました。

[インフルエンザの発生状況について（厚生労働省）](#)

2. 年齢別発生状況



📢 留意点: 年齢階級別の報告数の考え方について

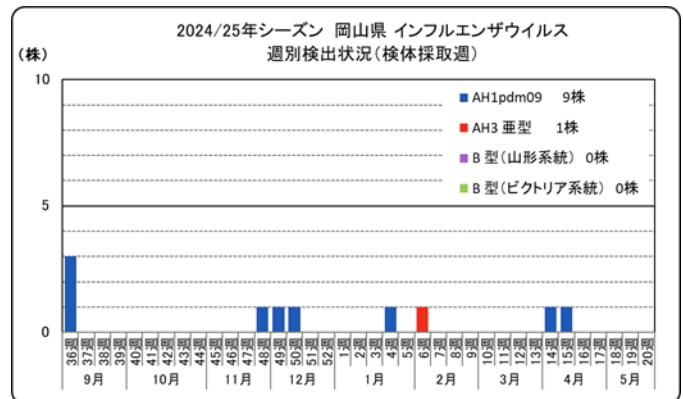
定点医療機関は、小児科定点(54 医療機関)が内科定点(30 医療機関)に比べて多いため、**報告数は小児に偏ります。**(2025 年第 15 週から小児科定点 28 医療機関、内科定点 22 医療機関に変更となりました。)

3. インフルエンザウイルス検出状況 【岡山県】

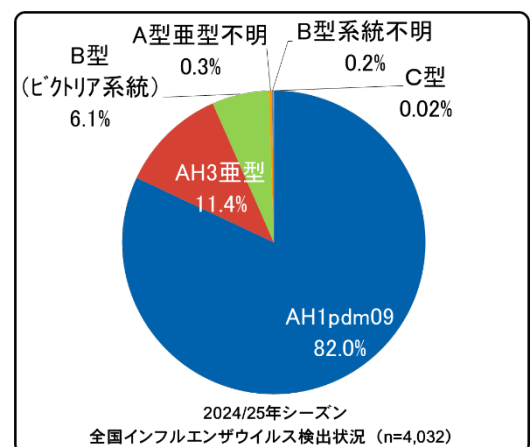
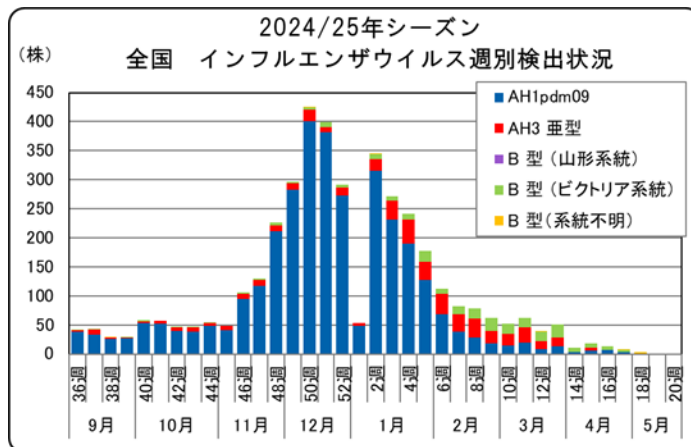
今シーズン、これまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは 10 株で、AH1pdm09 が 9 株、AH3 亜型が 1 株となっています。

【全国】

今シーズン、これまでに検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09 が 3,306 株、AH3 亜型が 460 株、B 型(ビクトリア系統)が 245 株、A 型亜型不明が 13 株、B 型系統不明が 7 株、C 型が 1 株となっています(5 月 13 日現在)。

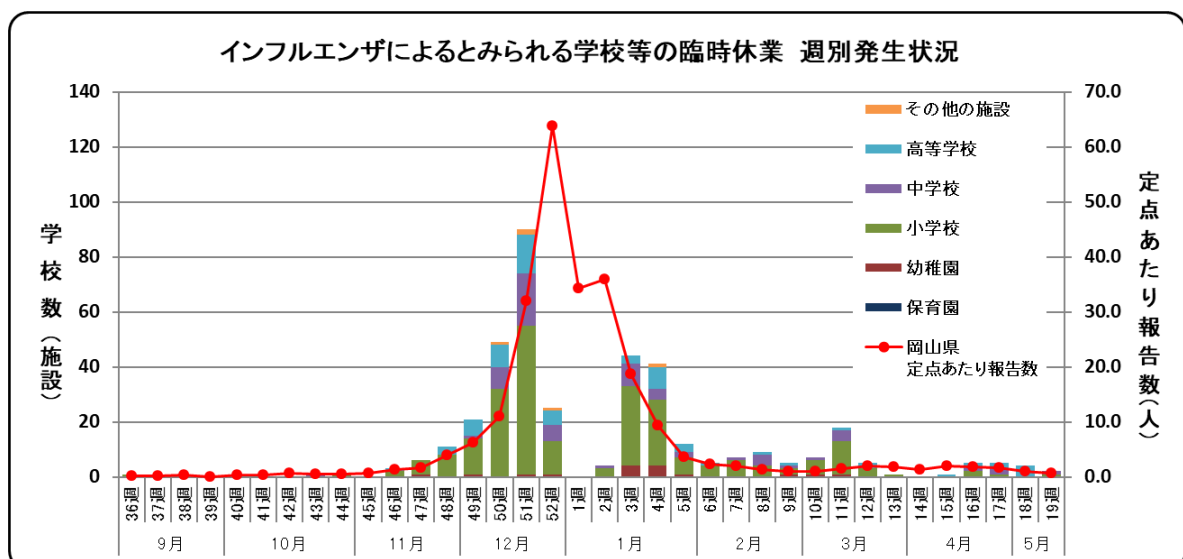


インフルエンザウイルス分離・検出速報(国立健康危機管理研究機構)



4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が、2 施設でありました。



臨時休業施設数の内訳

	保育園	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	その他	計
第 19 週	0	0	1	1	0	0	2
累計	0	16	231	65	66	5	383

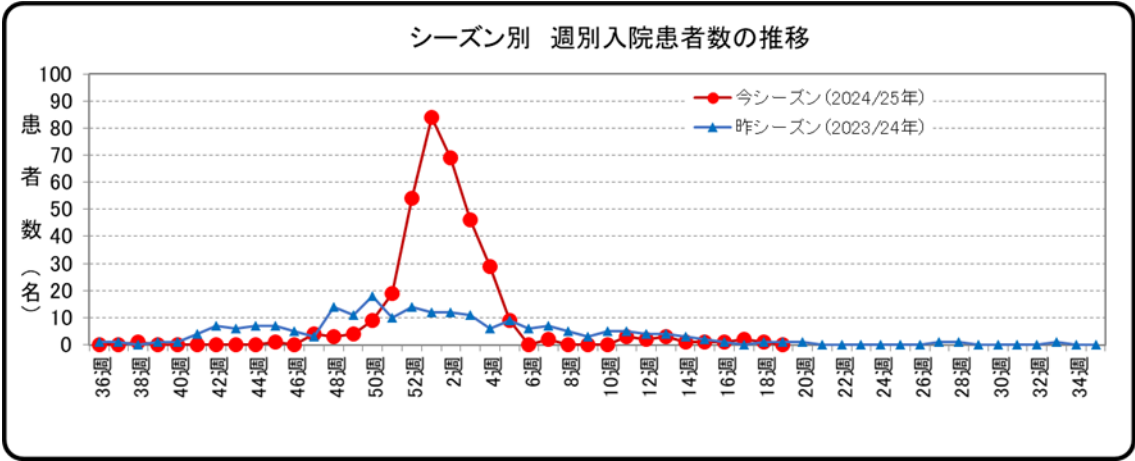
最新の臨時休業の情報については以下のホームページをご覧ください。

→ [（R6年度シーズン）岡山県内の学校等におけるインフルエンザとみられる臨時休業](#)

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、ありませんでした。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので、注意が必要です。幼児ではまれに急性脳症を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずウトウトしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。



【2024 年 9 月 2 日（第 36 週）以降に入院した患者の累計数】

年齢	1 歳未満	1～4 歳	5～9 歳	10～14 歳	15～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	計 *
入院患者数	6	34	21	8	2	4	2	7	27	42	85	110	348
ICU 入室 *		1	3				1	3	7	4	7	5	31
人工呼吸器の利用 *		1	1				1	3	4	1	6	6	23
頭部 CT 検査(予定含) *		2	2	2				1	3	4	10	17	41
頭部 MRI 検査(予定含) *		7	6	1					1		3	2	20
脳波検査 (予定含) *		3	3	2									8
いずれにも該当せず	6	25	11	6	2	4	1	4	19	34	68	85	265

* 重複あり

[令和 6 年度 インフルエンザ Q&A（厚生労働省）](#)

[令和 6 年度 今シーズンのインフルエンザ総合対策について（厚生労働省）](#)

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	35	0.70	4	0.22	15	1.25	2	0.50	2	0.40	9	2.25	—	—	3	0.60
COVID-19	53	1.06	7	0.39	24	2.00	5	1.25	6	1.20	7	1.75	2	1.00	2	0.40
急性呼吸器感染症	2574	51.48	887	49.28	699	58.25	184	46.00	471	94.20	168	42.00	47	23.50	118	23.60
RSウイルス感染症	9	0.32	1	0.10	3	0.43	—	—	1	0.33	—	—	—	—	4	1.33
咽頭結膜熱	5	0.18	2	0.20	1	0.14	—	—	2	0.67	—	—	—	—	—	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	37	1.32	8	0.80	10	1.43	1	0.50	17	5.67	—	—	—	—	1	0.33
感染性胃腸炎	266	9.50	123	12.30	61	8.71	7	3.50	27	9.00	9	4.50	—	—	39	13.00
水痘	9	0.32	7	0.70	1	0.14	1	0.50	—	—	—	—	—	—	—	—
手足口病	1	0.04	—	—	—	—	—	—	1	0.33	—	—	—	—	—	—
伝染性紅斑	7	0.25	5	0.50	—	—	—	—	2	0.67	—	—	—	—	—	—
突発性発疹	11	0.39	7	0.70	3	0.43	—	—	1	0.33	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	1	0.04	—	—	—	—	—	—	1	0.33	—	—	—	—	—	—
流行性耳下腺炎	2	0.07	—	—	—	—	—	—	2	0.67	—	—	—	—	—	—
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	2	0.40	—	—	1	1.00	—	—	—	—	1	1.00	—	—	—	—
クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	0.40	2	2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	35	0.70	4	0.22	15	1.25	2	0.50	2	0.40	9	2.25	—	—	3	0.60
咽頭結膜熱	5	0.18	2	0.20	1	0.14	—	—	2	0.67	—	—	—	—	—	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	37	1.32	8	0.80	10	1.43	1	0.50	17	5.67	—	—	—	—	1	0.33
感染性胃腸炎	266	9.50	123	12.30	61	8.71	7	3.50	27	9.00	9	4.50	—	—	39	13.00
水痘	9	0.32	7	0.70	1	0.14	1	0.50	—	—	—	—	—	—	—	—
手足口病	1	0.04	—	—	—	—	—	—	1	0.33	—	—	—	—	—	—
伝染性紅斑	7	0.25	5	0.50	—	—	—	—	2	0.67	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	1	0.04	—	—	—	—	—	—	1	0.33	—	—	—	—	—	—
流行性耳下腺炎	2	0.07	—	—	—	—	—	—	2	0.67	—	—	—	—	—	—
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

今週、岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2、レベル3に該当するものではありませんでした。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2025年 第19週 2025/05/05～2025/05/11)

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ	35	－	－	－	－	1	－	－	2	2	－	2	4	15	2	2	4	－	1	－	－
COVID-19	53	1	－	2	－	－	1	－	－	－	－	1	1	10	5	11	2	7	5	1	6

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
急性呼吸器感染症	2574	261	1032	434	288	83	73	84	77	72	55	54	61

疾病名	合計		-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	9	2	3	2	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
咽頭結膜熱	5	1	—	1	1	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	37	—	—	3	4	2	5	9	4	3	1	—	5	—	1	—
感染性胃腸炎	266	1	24	53	19	18	19	20	16	19	8	9	39	8	13	—
水痘	9	1	1	1	—	—	—	—	—	1	—	1	4	—	—	—
手足口病	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
伝染性紅斑	7	—	—	—	1	—	2	1	1	1	1	—	—	—	—	—
突発性発疹	11	—	5	4	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性耳下腺炎	2	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

保健所別

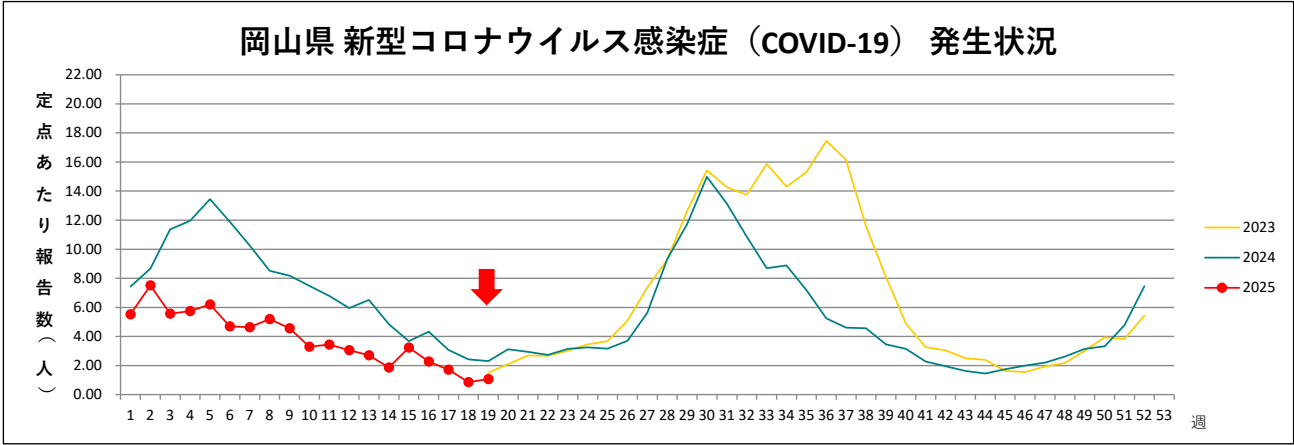
疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）	53	1.06	7	0.39	24	2.00	5	1.25	6	1.20	7	1.75	2	1.00	2	0.40

（ - : 0 or 0.00 ）

年齢別

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）	53	1	-	2	-	-	1	-	-	-	-	1	1	10	5	11	2	7	5	1	6

（ - : 0 ）



保健所別

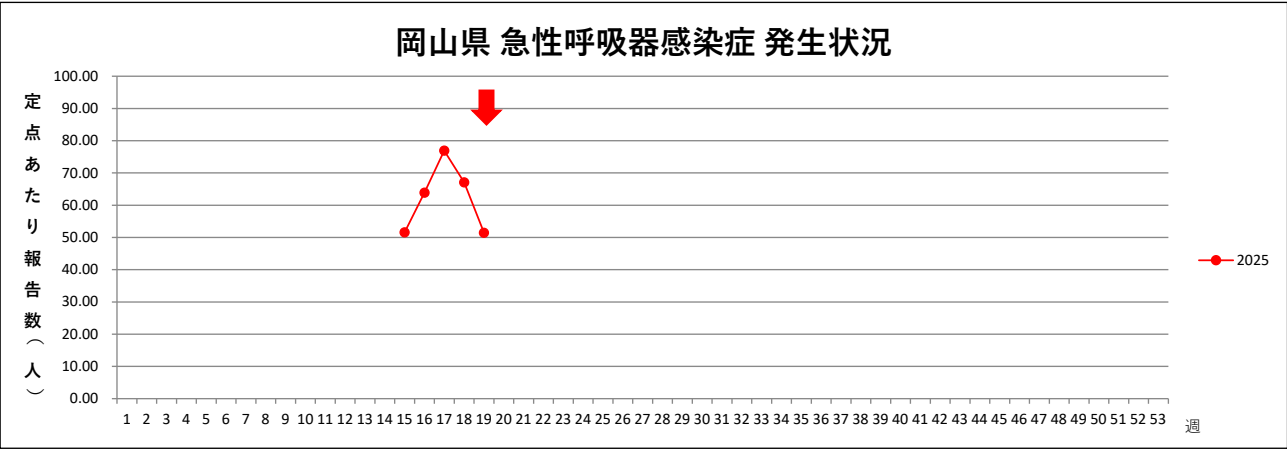
疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
急性呼吸器感染症（ARI）	2,574	51.48	887	49.28	699	58.25	184	46.00	471	94.20	168	42.00	47	23.50	118	23.60

（ - : 0 or 0.00 ）

年齢別

疾病名	合計	-12ヶ月	1-4	5-9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
急性呼吸器感染症（ARI）	2,574	261	1,032	434	288	83	73	84	77	72	55	54	61

（ - : 0 ）



全数把握 感染症患者発生状況

2025 年 19 週

[illegible]

